

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
11002	X-01-A-1-110024						
授業科目	担当教員						
福祉社会論	阿部 春江	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎 基礎 基礎 基礎 × ×	選択 選択 選択 選択 × ×	1年 2年のみ 2年のみ × ×

授業目的

社会福祉とはわたしたちの生活問題を支援・解決し予防していくことである。最初に時代とともに変化してきた社会福祉政策の歴史や市場の論理とは異なる視点を持つ福祉思想について学ぶ。次に現代社会の状況や社会福祉の課題について理解するとともに、利用者にとって望ましい福祉サービスのあり方について習得する。また身近な生活問題に対して支援活動を実践していくための基本について学ぶ。学術的素養を日々の生活に活かす方法を模索する意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得する。

授業は前半を講義形式、後半は事例検討等をグループごとで行い考察を深める。適宜DVDを活用し理解を深める。

各回毎の授業内容

第1回

【授】はじめに

【前・後】予習・復習に4時間。以下、毎週同じ。

第2回

【授】社会福祉の思想1 一社会福祉における自立の概念一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第3回

【授】社会福祉の思想2 一自立生活支援の考え方一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第4回

【授】社会福祉の思想3 一ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンの思想一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第5回

【授】社会福祉の思想4 一福祉国家と福祉社会、世界の社会福祉一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第6回

【授】社会福祉の課題 一貧困・ケア・社会的排除の問題一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第7回

【授】社会福祉の身近な生活問題1 一虐待の問題一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第8回

【授】社会福祉と身近な生活問題2 一若者の自立、就労-

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第9回

【授】社会福祉と身近な生活問題3 一若者の課題の複雑さ一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第10回

【授】サービスの利用 一福祉サービスの利用主体と利用支援一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第11回

【授】福祉ボランティア 一福祉ボランティアの歴史と特徴一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第12回

【授】相談援助の視点1 一生活モデルの視点とエンパワメント一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第13回

【授】相談援助の視点2 一コミュニケーションスキルと困難事例一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第14回

【授】社会福祉と身近な生活問題4 一認知症の理解一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第15回

【授】社会福祉と身近な生活問題5 一認知症への対応一

【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。

第16回

【授】レポート発表

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	◎	◎	◎	○	○		50
成果発表(口頭・実技)	◎	◎	◎	○	○		50
演習							
その他							

事前にレポート要綱を配布し説明を行う。レポート発表後に、全体の評価について講評する。

教科書参考書

教科書：教科書は使用しない。講義時に資料を配布する。

参考書：授業指定図書（図書館ホームページにて公開）。

受講に当たっての留意事項

1. 第1回目に、授業内容・成績評価方法等について説明する。
2. 体調不良、就職活動、忌引き等による欠席は配慮する。受講生は出席で不正をしないこと。
3. 後半にグループワークを行うため、前半の講義終了後に席移動を行う。
4. グループワークでは積極的な参加をお願いしたい。

学習到達目標

時代や社会の動きとともに変化し発展してきた福祉理念・福祉政策・支援活動等について理解するとともに、生活問題や福祉の課題について考察する力を身につけることができるようになる。身近な生活問題に关心をいただき、自分の生活問題に対応できる力を身につけることができる。国際社会で必要な知識を身につけることができる。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習